



みよし



令和6年1月30日

～ 保護者や地域と ともにある学校 をめざして ～

文責 石原 裕

日常のあいがたさを感じながら、前へと進む3学期

新しい年を迎えましたが、新年早々、能登半島地震や日航機事故が発生し、重苦しい中でスタートとなりました。被災地では、現在も多くの人が厳しい避難生活を送りながら、不安な毎日を過ごされています。一日も早い復興をお祈りするとともに、私たちにできることを少しずつ実行しながら、支援をしていきたいと思えます。



さて、子供たちは楽しかった冬休みから学校生活への切りかえができ、元気に3学期を過ごしています。気がつけば1月もあと1日となり、もう「いつてしまった」と感じています。

保護者の皆様、地域の皆様、**「本年もどうぞよろしく願いいたします」**

さて、1年で最も短い3学期は、1年生から5年生までは50日間、6年生は3月19日(火)の「卒業式」までの47日間となります。短い学期だからこそ、見通しをもって、一日一日を大切に指導にあたっていきたいと思えます。また、次の学年や中学校を見据えながら、学習や生活のまとめを行い、自信をもって新学年に進級及び進学できるように、取り組んでまいります。

3学期も保護者の皆様の御理解と御協力、地域の皆様の御支援を、どうぞよろしく願いいたします。

かるた をとおして 山梨のよさを知ろう！



1月後半に「**第2回ふるさと山梨かるた大会**」を行いました。「ふるさと山梨かるた」は、山梨県の特産品や名所、歴史的人物などを題材にしたかるたで、都留市の札は、八朔祭りを題材に「**た 大名行列 豪華絢爛 八朔屋台**」となっています。このかるたに親しむことで、山梨県のことを知ったり、ふるさとのよさを感じたりしてもらいたいと思い、昨年度から大会を実施してきました。

今年度は、1～3年生の部に**23人**、4～6年生の部に**21人**が参加してくれました。12月から貸し出しを始めると、冬休み中も含め、何回も借りにきてくれる子もいました。たくさん練習した子のなかには、かるたの札を暗唱できる子もでてきました。大会は、予選と決勝を行い、次の子供たちが入賞者となりました。入賞できずに悔しい思いをした子もいましたが、そのことも含め、**こんなにたくさんの子供たちが参加してくれたことを本当にうれしく**思いました。

1～3年生の部 最優秀 武藤あゆた(2年)、劔持まう(3年)

優秀 宮地ゆあ(1年)、大中れな(2年)、布施みりあ(3年)、長沼らいき(3年)

4～6年生の部 最優秀 大中はなえ(4年)、久保田にこ(4年)

優秀 森屋ゆき(4年)、久保田さら(6年)、小林まゆか(6年)、佐藤れい(6年)



☆お知らせとお願い☆

本校では、2月に次年度の児童会役員と5年生が中心となって、『6年生を送る会』が行われます。新型コロナウイルス感染症が拡がる前は保護者の皆様にも参観していただいていましたが、「1～5年生が6年生への感謝の気持ちを伝えるとともに、最後の交流の場とする」という行事の趣旨を踏まえ、児童のふれあいを主体とした内容に変更することとなりました。したがって、今後は児童と職員のみの会といたします。参観を楽しみにしていた保護者の皆様におかれましては、何とぞ趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

：：～

☆大谷選手からのグローブが届いたよ！（グローブ贈呈式）

1月11日（木）の始業式の後、大谷選手からのグローブ贈呈式が行われました。子供たちは大谷選手からのプレゼントに大喜び。校長室前に3つのグローブを並べると、サインを見つけたり、触ってみたり興味津々。早速、休み時間や授業で活用しています。



☆書きぞめ大会（1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆）

1月18日（木）を中心に校内書きぞめ大会を実施しました。2学期末から課題に取り組み、冬休み中も各家庭で練習を行ってきた成果を発揮しました。各学年とも「自分の最高の1枚を書こう」と一文字一文字に集中しながら書き上げました。なかには、「もう1枚」「あと1枚」と時間いっぱいまで粘り強く取り組む児童もいました。2月9日（金）の授業参観に訪れた際には、是非、ご覧ください。



☆谷ニラボ（都留文科大学の学生による科学実験教室）

1月29日（月）に都留文科大学の学生が企画した「第3回谷ニラボ」を開催しました。今回のテーマは「もっとはねて！ぼむぼむボール作り」でした。希望者を低学年と高学年の2教室に分け、洗濯のりからスーパーボールのような玉を作り、化学の不思議さを体験することができました。

